



突然襲う土砂災害

6月は土砂災害防止月間です

命とくらしを脅かす土砂災害の防止と被害の軽減を目的に、昭和58年より毎年6月を土砂災害防止月間に定め、全国一斉に様々な取り組みが実施されています。

これから梅雨の時期に入り、前線の位置や気圧配置次第で、集中豪雨が頻りに発生し、土砂災害が起きる危険性が高まっています。

自然災害による死者・行方不明者のうち、土砂災害によるものは約4割を占めています。日頃から気象情報などに気を配り、災害の危険性が高まった場合は命を守る行動をとりましょう。

市の防災ハザードマップで確認しましょう

土砂災害の多くは土砂災害危険箇所が発生しています。

先日、市内各戸に配布しました三好市防災ハザードマップには、土砂災害警戒区域など、地域の危険箇所を災害種別ごとに地図で表示しています。自宅や職場、地域内にとりおきましよう。

また、災害が発生するしくみや災害への備え方、災害情報の入手方法など、災害から身を守るために有益な情報が掲載されており、確認をして災害に備えるようにしましょう。わが家のマイ・タイムラインや、わが家の防災メモの作成も、災害の備えには有効な手段です。作成しておきましょう。

また、災害が発生するしくみや災害への備え方、災害情報の入手方法など、災害から身を守るために有益な情報が掲載されており、確認をして災害に備えるようにしましょう。わが家のマイ・タイムラインや、わが家の防災メモの作成も、災害の備えには有効な手段です。作成しておきましょう。

こんな変化に注意(土砂災害の前兆現象)



【土石流】

地鳴りがする、土臭いにおい、流水の異常な濁り、渓流内で転石の音、流水の急激な濁り、流木発生、雨が降り続くにも関わらず川の水位が下がるなど

【地すべり】

地面にひび割れができる、わき水の枯渇や増加、井戸水が濁る、池や沼の水位の急変、家や擁壁などの傾き、樹木の傾き、地鳴り・山鳴りなど

【がけ崩れ】

表面に流水が発生、わき水が発生、わき水量の増加、わき水の濁り、わき水が止まる、わき水が噴き出す、斜面がふくむ、小石がばらばら落下するなど

危険を感じたら早めに避難をしましょう

土砂災害は突発的に発生するものが特徴です。土砂災害警戒情報が発せられたり、危険を感じたら早めに避難してください。普段から、避難場所や避難の道順、お年寄りなどの早めの避難について、ご家族やご近所と相談して決めておくことが重要です。

土砂災害警戒情報が発表されていなくても、上記のような土砂災害の前兆現象を見つけたら、異変を感じたら、ただちに避難するとともに、市や警察、徳島県西部総合県民局に連絡してください。また、土砂災害の多くは木造1階で被災しています。豪雨などでどうしても避難所への避難が困難なときは、次善の策として、近くの頑丈な建物の2階以上に緊急避難したり、それも難しい場合は家の中でより安全な場所(例えば、がけから離れた部屋や2階など)に避難しましょう。



代表的な防災・気象ホームページ

気象庁 気象情報 https://www.jma.go.jp/jma/
国土交通省 防災情報提供センター http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/
四国地方整備局 四国の防災・災害情報 http://www.skr.mlit.go.jp/road/info/
四国地方整備局 道路情報提供システム http://www.skr.mlit.go.jp/bosai/
徳島県 県土防災情報管理システム http://www.l.road.pref.tokushima.jp

- 三好市危機管理課 ☎72-7625
- 三好市工務課 ☎72-7623
- 西部総合県民局 県土整備部三好 ☎76-0625
- 国土交通省 四国山地砂防事務所 ☎72-5400

土砂災害のお問い合わせ先

警戒レベル	住民が取るべき行動	避難情報等
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (警戒級の可能性) 〔気象庁が発表〕
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報 〔気象庁が発表〕
警戒レベル3	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難を開始しましょう。その他の人は避難の準備を整えましょう。	避難準備・ 高齢者等避難開始 〔市が発令〕
警戒レベル4	速やかに避難場所へ避難をしましょう。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示(緊急) 〔市が発令〕
警戒レベル5	すでに災害が発生している状況です。命を守る最善の行動をとりましょう。	災害発生情報 〔市が発令〕

危険度が増大

避難情報や防災気象情報に警戒レベルが示されます

今後、災害の発生するおそれの高まりに応じて市から発令される避難情報や、国・県から提供される防災気象情報に、警戒レベルが付記されるようになります。警戒レベルは、出された情報から取るべき行動が直感的にわかるようにと導入されました。警戒レベルには1から5まであり、数字

が大きいほど危険度が高まります。警戒レベルに応じた取るべき避難行動や避難情報等の発令・発表は、左の表のとおりです。

雨が降り始めたから土砂災害警戒情報などの防災気象情報に注意し、避難情報等が発令・発表された際には、すぐに住民が取るべき行動を取るようにしましょう。



緊急地震速報の訓練放送を行います

6月18日「全国瞬時警報システム(J-ALERT)」を通じた、緊急地震速報の訓練放送を実施します。緊急情報として伝達されるため、最大音量による放送となりますので、ご注意ください。

緊急地震速報を見聞きして強い揺れが来るまでの時間はごくわずかで、短い時間にあわてずに身を守る行動をとるためには、あらかじめどのような行動をとるかを知り、実際に行動をとって経験しておくことが大切です。この機会に、ご家庭や地域などでの行動訓練にご活用ください。

訓練日時 6月18日 10時頃

気象・地震活動の状況などにより、訓練を中止することがあります。

実施内容

音声告知端末による緊急地震速報の訓練放送

放送内容

最初に「緊急地震速報チャイム(NHKチャイム音)」が流れます。放送内容…「大地震です。大地震です。これは訓練放送です」(3回繰り返す)

地震発生時の屋内での対応

- ▽家具の移動や落下物から身を守るため、頭を保護しながら大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れる
- ▽慌てて外に飛び出さない
- ▽その場で火を消せる場合には火の始末をする
- ▽扉を開けて避難路を確保する



お問い合わせ先

三好市危機管理課 ☎72-7625